



第1章

佐川町の未来像

第1節 佐川町の目指す未来像

前計画では、「チームさかわ まじめに、おもしろく。」を佐川町の未来像に掲げて、その実現に向けた施策を展開してきました。前計画の基本構想の策定から10年が経過し、町民のニーズや行政が対応すべき課題を把握したうえで、町民と行政が一体となり社会の変化に対応したまちづくりを進められるよう、本計画において目指す未来像を次のとおり定めます。

未来像

人と文化が花ひらく、
明るく元気なまち
さかわ



この未来像には、佐川町の歴史と文化を基盤に、町民が互いに支え合いながら、活力ある地域社会を築くという願いが込められています。

佐川町は、古くから教育と文化の拠点として発展し、文教のまちとしての誇りを育んできました。近年では、植物分類学者・牧野富太郎博士の生誕地として全国的にも注目を集め、植物や自然、歴史文化を通じた交流や観光の振興が図られています。

地域では、人口減少や高齢化が進む中でも、伝統行事や集落活動センターの取組などを通じて、いろいろな分野のボランティア活動が行われ、町民一人ひとりが支え合い、多世代が関わりあいながら地域コミュニティを守り続けています。こうした取組をさらに進めながら、町民一人ひとりが心身ともに健康で、地域の中で生きがいを感じながら、世代を超えて笑顔とつながりが広がる、温かく安心できる地域社会を目指します。

人が育ち、文化が育まれるまちとして、元気な人々の笑顔と活力が地域の原動力となり、教育・福祉・産業・観光など、あらゆる分野で花ひらく未来を表しています。

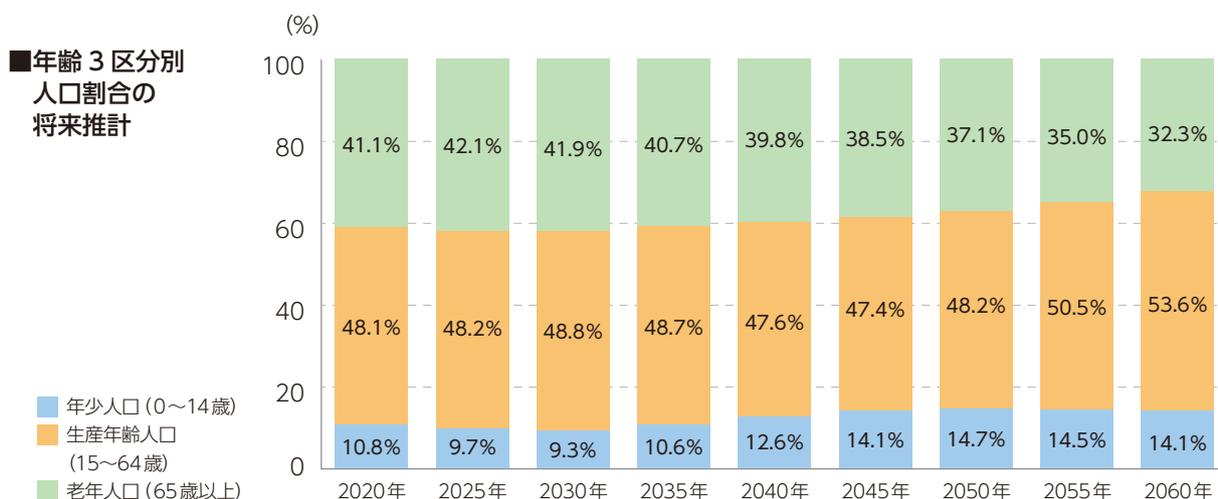
第 2 節 | 佐川町の人口ビジョン

国勢調査によると、佐川町の人口は昭和 60（1985）年の 16,124 人をピークに減少傾向が続いており、令和 2（2020）年には 12,323 人となっています。

佐川町の将来人口について、社人研（※）準拠の人口推計では、令和 42（2060）年には、人口が約 5,900 人まで減少すると見込まれています。

こうした状況を踏まえ、総合計画に併せて策定する人口ビジョンでは、人口の維持に計画的に取り組むこととし、令和 42（2060）年までに約 8,800 人の将来展望を目指すとともに、基本構想・基本計画の目標年度である令和 17（2035）年の目標人口を 10,490 人と設定します。

※社人研：国立社会保障・人口問題研究所



単位：人	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
老年人口	5,069	4,882	4,609	4,268	4,011	3,725	3,459	3,161	2,841
生産年齢人口	5,927	5,598	5,364	5,114	4,789	4,596	4,505	4,566	4,719
年少人口	1,327	1,124	1,023	1,108	1,270	1,367	1,376	1,309	1,242

第 1 部

第 2 部

第 3 部

第 4 部

第1節 基本方針

未来像を実現するための政策を進めるに当たり、次の2つの基本方針を定め、まちづくりの方向性とします。

1 持続可能なまちづくり

佐川町には、先人から受け継がれてきた歴史や文化、人と人の温かなつながり、そして豊かな自然があります。これらは町の歩みを支えてきたかけがえのない財産であり、決して一過性の取組によってなされたわけではありません。一つひとつの取組が将来を見据えて、それぞれの時代に対応しながら紡いできたものです。

今、人口減少社会の進展やライフスタイルの多様化が進む中で、持続可能性を意識した取組がますます重要となります。これまで育まれてきた佐川の歴史や文化、自然、人のつながりを礎として、変化の時代に対応しながら、次の世代へとまちの魅力と力をつないでいく取組、つまり持続可能なまちづくりがあらゆる分野で求められています。

個々の取組はたとえ小さくても、持続可能な仕組みや制度を取り入れて政策を進めることで、未来像の実現を目指します。

2 町民と歩むまちづくり

人口減少や少子高齢化が進む中で、地域を取り巻く課題は複雑化・多様化しています。こうした課題に対応し、持続可能なまちづくりを進めていくためには、行政だけでなく、地域に暮らす町民や団体、事業者などが互いに力を合わせる事が欠かせません。

まちの現状や課題を共有しながら、協力し合うことで、より実効性のある取組が生まれます。行政は、町民が活動しやすい環境を整え、地域の主体的な取組を支援し、町民は自らのまちを支える担い手として、ともに歩みを進めます。

町民と行政が同じ未来を見据え、思いを重ねながら力を合わせることで、誰もが誇りと愛着を持って暮らせる佐川町を築くことができます。



第2節 分野毎の政策方針

① 教育

これまで佐川町が培ってきた「文教のまち」を継承しながら、学校・家庭・地域が連携して学びと郷土愛を深めるとともに、文化・スポーツを推進していきます。



② 健康・福祉

誰もが健やかに過ごすことができるよう、子育てや健康づくり、医療介護などの取組や支援を進め、地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを推進します。



③ 産業・観光

これからの佐川町の産業を担う担い手の育成を図るとともに、地域の産業の活性化を推進します。また、新たな地域資源、豊かな地域資源を発掘・活用し、町の魅力と元気を創出します。



④ 安全・安心

町民の命と財産を守るため、防災・減災対策を進めます。また、防犯や交通安全対策を強化し、誰もが安全で安心して暮らせる環境をつくります。

⑤ まちづくり

豊かな自然を次世代に継承しつつ、人と人とのつながりを大切にしたまちづくりを推進していきます。また、人口減少対策に取り組み、持続可能なまちを築きます。

⑥ 行財政

将来を見据えた健全財政を徹底し、情報共有と広報・広聴を強化します。また、組織・人材力を高めて、町民と役場が一体となってまちづくりを進めます。